

とうか

桃花

学校教育目標

『進んで学びあう生徒
思いやりのある生徒
たくましい生徒』

校長(文責) 野口 千津子

「リスペクトアザース」

人権作文を紹介します。
全て原文のままです。

僕は、日本人の両親を持ちながら、アメリカのサンディエゴで生まれて、十歳半まで生活し、地元のデイケア(保育園)、プレスクール(幼稚園)、小学校に通った。その中で出会った先生たちが何度も口にした『respect others(リスペクトアザース)』という言葉は、今も僕の行動や考え方に大きな影響を与えている。

サンディエゴは、ロサンゼルス以南にあり、メキシコの国境から一時間程度だったので、土地柄のせいか、クラスには、肌の色も髪の毛の色も本当にいろいろな人種の人たちがいた。僕が物心ついたときには、周囲にいろいろな人種の人たちがいるのが当たり前だったので、自分がまわりの人と違っていることも当然だと思っていたし、それに対して深く考えることもなかったように思う。どこの国でも同じだと思うが、集団生活が始まると、誰かが意地悪をしたとか、誰かが誰かにいじめられたとか、いわゆる人間関係のトラブルが起こってくる。そんなとき、先生たちは必ず『リスペクト アザース』と言い、当事者に反省を促した。『リスペクト』の意味もはっきりわからない保育園や幼稚園の頃から、ことあるごとに繰り返し叩き込まれた。日本語にすると、「他の人のことを尊重しなさい」というような意味なのだが、今思うと「意地悪しないで、みんな仲良くしなさい」とか、「いじめはダメ」というそのときの行動を注意するのではなく、その行動を起こしてしまった根本の考え方を問題にしていることになる。

また、この言葉は僕が入っていたリトルリーグの監督やコーチもよく使っていた。選抜テストがない地元のリトルリーグでは、上手い選手と上手くない選手が混合して十二人でチームとして試合に臨まなくてはならなかった。上手くない選手がフライをポロリと捕りそこなったとき、チーム全体が「おい、この下手くそ」と怒鳴りたくなる場面で、監督やコーチは『リスペクト アザース』と言った。やる気がなくてエラーをするのはもってのほかであるが、やる気があっても上手くできない選手はいるのである。この場合は、そこをわかってやれという意味だと思っている。実際、当時初心者だった僕は、この言葉を聞いて救われる気持ちになり、もっと上手くなるようにうんと頑張り、シーズン最後にはチームに少しは貢献できるようになった。

その後、僕は日本の小学校に通い始めた。周囲のみんなのおかげで生活にはすぐに慣れたが、同時に大きなカルチャーショックも受けた。一番驚いたことは、みんなが他の人と大きく違わないように、なるべく同じようになるように非常に気を遣っているように見えたことである。他人よりうまくいかないから目立たないようにしているのではなく、他人よりうまくできても目立たないようにしているように感じた。僕は最初のうち、そのノリがわからず今までどおり、自分が上手く出来たことを周りの人にも伝えていたら、「それは自慢だ」と言われて、なんとも悲しい気持ちになった。また、友達同士で相手の気持ちになれば絶対言えないような侮辱するようなひどい言葉を言い合っている、『冗談』と言ってうやむやにしていることにも驚いた。僕がよくわからない世界だった。僕が叩き込まれていた『リスペクト アザース』の世界はここにはなかった。

僕の限られた経験の話になるが、アメリカ(サンディエゴ)ではなぜそんなに『リスペクト アザース』を子どもの頃から叩きこんでいるのだろうか。

それは、アメリカ社会がつい最近までひどい人種差別などを行ってきたことの反省からかもしれない。居住地区を制限したり、公園やバスなどの公共の場でも座る場所をわけていたり、差別することが当たり前で、一般人が差別したりされたりすることに何の疑問を持たずに時代が流れていた過去がある。そんな過ちをこれから先に繰り返さないように、子ども達に叩き込んだり、またそうすることによって、大人も自分自身を戒めているのかもしれない。

僕は日本でももっと、『リスペクト アザース』が浸透していけばいいと思う。日本は表面上差別のない社会なので、必要ないと思われるかもしれない。しかし、これこそが人権を考える上での基本だと思う。人権尊重の社会を作っていくのは、僕たちひとりひとりの考え方によるからだ。同じ人間は一人もいない。人と違っていることがまたその人の個性である。違う点だけでなく、うまくいったこと、できなくても努力していくことなどを尊重し合っていくことができれば、もっと素晴らしい社会になっていくと思う。

「法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会主催第32回全国中学生人権作文コンテスト入賞作品」

左の作文の最後にある「違う点だけでなく、うまくいったこと、できなくても努力していくことなどを尊重し合っていくことができれば、もっと素晴らしい社会になっていくと思う。」とあるように、違いを受け止めて、相手を理解していく社会はこれからもっと必要になってきます。私たち一人一人が互いを認め合うためには、意識して生活していくことが大切です。あと2ヶ月の3学期の学校生活をみんなで意識して過ごしていきましょう。

1月の予定

26日(水) 新入生保護者説明会

29日(土) 漢字検定(希望者)

2月の予定

1日(火) 全校朝会

2日(水) 専門委員会

4日(金) 第3回学校運営協議会 9:30~

7日(月) 1年生心の健康講座

8日(火) 2年生性教育講演会

10日(木) 県公立入学願書・調査書等提出(郵送)

11日(金) 建国記念の日

16日(水) 3年生学年末テスト

17日(木) 2年生数学のお兄さん特別授業(3)

18日(金) 1年生・2年生数学研究授業

19日(土) テスト前部活動停止期間(~25日)

22日(火) 登校指導、3年生受検事前指導

23日(水) 天皇誕生日

24日(木) 学力検査、学年末テスト(1・2年)

25日(金) 実技検査、面接、学年末テスト(1・2年)

令和4年度の年間行事予定について

(1月25日現在の予定)

裏面に令和4年度の年間行事予定について掲載しました。あくまでも1月の段階ですので、今後も変更があります。今後、随時ホームページにも掲載予定です。また新年度には新たに配布いたしますので、おおよその予定として捉えてください。どうぞよろしくお願いたします。

都幾中生の活躍^{敬称略}

比企地区書きぞめ展

特選

1年 ○○ ○○○ ○○ ○○

2年 ○○ ○○

3年 ○○ ○○○

優良

1年 ○○ ○ ○○ ○○

○○ ○○ ○○ ○○

2年 ○○ ○○ ○○ ○○

○○ ○○○ ○○ ○○

3年 ○○ ○○ ○○ ○○

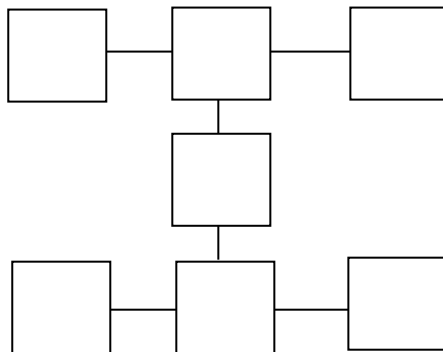
○○ ○○○ ○○ ○○



今年も審査のみ行われました。出品作品は、校内に展示されています。

学びを楽しむ

1~9の整数のうちの7つを図の□の中に入れ、直線で結ばれる3つの□の数の積を等しくなるようにしたとき、□の中に入る数をすべて求めなさい。解答を校長室でお待ちしています。



【凡事徹底】【日々改善】【発信】

QRコードを読み取ってください。

都幾川中ホームページ →→→

